



自賠責制度PR月間について

自賠責保険・共済は交通安全のセーフティネット

自賠責保険・共済は交通安全のセーフティネット

自賠責保険・共済は、クルマやバイク（原動機付自転車を含む）1台ごとに加入が義務付けられており、交通事故被害者への基本的な対人賠償を確保するものです。

もし、無保険・無共済車両による事故を起こした場合、事故加害者は多額の賠償額を被害者に自ら支払うことになり、被害者のみならず加害者にとっても悲惨な結果をもたらすことになります。

もし、自賠責保険・共済に加入せず事故をおこしたら・・・

大学生のAさん（20歳）は「自分だけは大丈夫。絶対に事故を起こさない」と過信し、自賠責保険の有効期限が切れたバイクをそのまま運転していました。ある日、道路に飛び出した子供をひいて、死亡させてしまいました。

自賠責に加入していなかったAさんは多額の賠償金を全額自己負担するこ

とになってしまいました。もし自賠責保険に加入していれば、最高3000万円（限度額）まで自賠責保険で支払うことができたのです。

*沖縄県では平成24年度においてバイクが第一当事者（注）となる事故が561件発生しています。特に24歳以下の若者が起こした事故は243件となり事故件数の4割以上です。

（注）…第一当事者 事故において過失が重い側の者。過失が同程度の場合は被害が軽い者をいう。

自賠責保険・共済の有効期限切れバイクへの監視活動

沖縄県では、小さくて小回りのきくバイクは手軽な移動手段としてよく利用され、特に維持費が安い軽二輪（排気量250cc以下のバイク）・原動機付自転車（原動機付バイク）が人気です。しかし軽二輪・原動機付自転車は車検制度が無く、自賠責保険・共済の有効期限切れに気付かず使用されることが見受けられます。

沖縄総合事務局では、大型商業施設

や団地等の駐輪場を中心に、自賠責保険・共済の期限切れの疑いがあるバイクに注意喚起を行っており、平成25年度は38705台を監視、うち3281台（約8%）に自賠責保険有効期限切れの疑いありとして、注意喚起を行いました。これは全国平均の6%より高く、沖縄県においては自賠責保険・共済制度を、より積極的に広報することが求められています。

自賠責PR月間

国土交通省及び沖縄総合事務局運輸部では、平成26年9月1日から9月30日までの1ヶ月間を「自賠責制度PR月間」と定め、以下の広報活動を行います。これにより自賠責保険・共済への加入促進を図り、自賠責制度の基本的な仕組



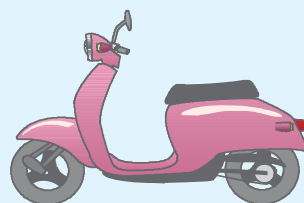
職員及び指導員が街頭取締りや監視活動を行っています

- ① ポスター・リーフレットによる広報の実施
- ② 自賠責保険・共済の有効期限切れ車両への監視活動の推進
- ③ 街頭啓発活動を（社）日本損害保険代理業協会等と連携して実施

有効期限が切れていないかチェックしましょう。



※自動車及び排気量250ccを超えるバイクは車検ステッカーの有効期限をチェック



※排気量250cc以下のバイク(原付を含む)はナンバープレートのステッカーをチェック

平成23年4月1日より、一目でみて自賠責保険切れがチェックできるよう、従来のブルー一色であったものを年ごとにカラー化して判別しやすく改良措置がされました。



平成31年以降の配色については、順次これを繰り返す。

★自賠責は強制です。 でも、かんたん加入！

各損害保険会社・共済協同組合をはじめ、クルマやバイクの販売店や郵便局でも、簡単な手続きで加入できます。

250CC以下のバイクなら、一部のコンビニやインターネットでも、簡単な手続きで加入できます。

自賠責保険料・共済掛金

2013年4月現在

	契約 期間	60 ヶ月	48 ヶ月	36 ヶ月	24 ヶ月	12 ヶ月
	車両					
沖縄 県	原動機付 自転車 (125cc以下)	5,350円	5,210円	5,070円	4,930円	4,790円
	軽二輪 自動車 (125cc～ 250cc)	5,760円	5,540円	5,330円	5,100円	4,870円

注) 原動機付自転車以外の保険料・共済掛金については、損害保険会社・共済協同組合にお問い合わせください。

自賠責制度の詳細内容は<http://www.jibai.jp>でご覧になれます。